

出石の町と人の心に温もりをもたらす備前焼灯籠とステンドグラス展

出石アートワールド

活動の目的

ステンドグラスに親しんで、街を活性化する。

活動の内容及び経過

2017年11月17日より岡山後楽園幻想庭園がスタート。同時にステンドグラス展も始まった。寒翠細響軒では4人の作家による作品展示。有名作家だけにデザイン、カラー共に素晴らしい作品で、園内散策の方が足を止めてカメラに収めていた。鶴鳴館本館では、24日25日、11名の作家によるパネルやランプなど50点の展示をした。会場に入ったお客様は、これだけの作品にお目にかかれないと感嘆の声を上げていた。本館入り口には備前焼灯籠を置き、和と洋のコラボを演出した。畳の部屋にはステンドグラスは合わないと思われがちだが、そこに置くとピッタリと合うのが不思議である。その後は、出石町・石関町界限各店舗に場所を移し、ガラス越しに見える柔らかな灯りが道行く人をホッとさせていた。

活動の成果・効果

本来11名の作家が一堂に会することはなく、それぞれ個性のある作品をこの会場で見られることは主催者、来場者にとっても感動に値する。2日間の来場者は約1000人。夜だけの点灯予定であったが、あまりにも素晴らしいので、お客様より昼も夜も開場して欲しいと要望があり、ステンドグラスの良さを実感したのではないだろうか。ステンドグラスは、カルチャースクールや個人教室で楽しまれているので目にすることは少ないが、雑誌やテレビの場面の重要な小物として飾られている。単なる小物としての存在ではなく、例えばパネルなどは家の窓枠にはめてインテリアとして使ったり、ランプは置くだけで存在感を示している。この活動は、身近にステンドグラスと触れ合う機会を増やすこと。柔らかな灯りによって人々の心を癒してくれるような効果がステンドグラスにはあるのではないだろうか。

今後の課題と問題点

年に3回ある後楽園幻想庭園は年々観光客が増えている。昼とは違った顔を見せてくれるライトアップは毎年好評で県内外には留まらず国内外の方々が来園している。ステンドグラスや備前焼灯籠などは、あかりを灯すことでその場を別空間のようにしてしまう魔力ある。岡山を代表する後楽園に今年も展示することができたことに大変感謝しています。

ここに限ったことではなくいろんなシーンでテレビや雑誌の話題になるのは万国共通ではないだろうか。出石町・



石関町界限各店舗、ホテルにステンドグラスのランプをして点灯している。

朝まで灯している店舗もあり、ガラス越しに見える灯りは、道行く人、散歩の方、自転車の方は足を止めて、また、自動車の方はわざわざ車を降りてシャッターを切っていた。

お客様から「燈台の役目をしているから続けてね。」とか「ここまでくるとこの灯りでホッとします。ありがとう」の言葉を下さる方もおられ、今後も参加店舗を増やししながら、後楽園の玄関口、出石町から光を灯していくことを続けたいと思います。

- 代表者：御領園美耶子 ●所在地：岡山市北区出石町
- TEL：086-221-9939 ●E-MAIL：Izushi-antenna8@outlook.jp
- 設立年：1997年 ●メンバー数：10名